氏名	受講番号

問１

配布されている木造２階建 36.3 坪の住宅モデルの気象条件を「東京都・東京」とし
X=年間一次エネルギー消費量(kWh/m2) Y=年間暖房負荷(kWh/m2)としたとき、
X＜１６０－２Y を満たし、尚且つ　年間冷房負荷＜30kWh/m2
（ただし X には太陽光発電分は考慮しない）として
建もの燃費ナビで導き出された下記の数値を記入してください。
（ヒント：太陽熱温水器は給湯の一次エネルギーの削減につながります）

年間一次エネルギー消費量（X）：　（　　）ｋｗｈ/ｍ２・年

年間暖房負荷（Y）：　（　　）ｋｗｈ/ｍ２・年

X＜１６０－２Y:　（　　）＜（　　）（計算結果を記入）

暖房期の窓の日射取得量（　　）kwh/年　**熱損失量**（　　）kwh/年

想定した気密性能:　（　　）（ cm2/m2 ・ 回/h ）

問２

課題問１を解くにあたり、どのようなコンセプトと手順で性能向上をおこなったかを
簡潔に説明してください。

試験終了後、USB スティックに作成データを記録し回収します。指示があるまでソフトを終了せずそのままお待ちください。